

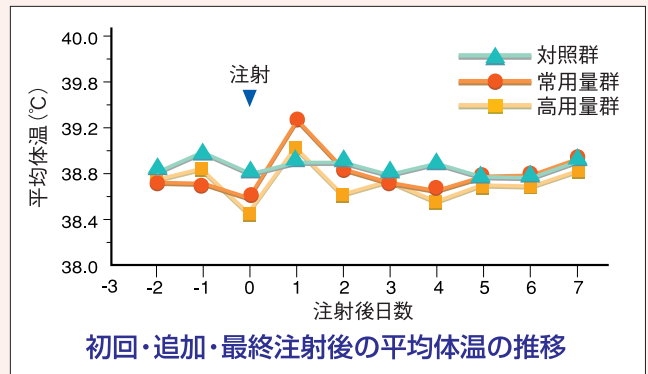


# ストックガード5の安全性

北米で1998年の発売以来、2000年末までに750万頭以上の牛に注射されていますが、副作用を示した牛はわずか6頭(0.0001%以下)、いずれもきわめて軽度の腫脹で、1~2日で消失しました。育成牛、妊娠牛、胎児にも悪影響は認められません。

## ■妊娠牛に対する安全性

妊娠牛(各群3頭)に、ストックガード5の常用量または高用量(10倍量)を3回く種付け後2ヵ月、3ヵ月および分娩前1.5ヵ月注射し、妊娠初期から分娩後まで観察を行いました。母牛は健康に妊娠を維持し、正常に分娩しました。また、産仔にも異常はみられず、全頭とも健康でした。



## 産仔の検査所見

| 観察・検査項目        | 群     |       |       |
|----------------|-------|-------|-------|
|                | 対照群   | 常用量群  | 高用量群  |
| 出生時所見          | 異常なし  | 異常なし  | 異常なし  |
| 出生時体重(kg)      | 34~39 | 28~42 | 29~40 |
| 4週齢時体重(kg)     | 44~54 | 37~53 | 40~49 |
| 出生後4週間の増体重(kg) | 8~14  | 9~11  | 9~12  |
| 尿検査所見          | 異常なし  | 異常なし  | 異常なし  |
| 血液学的検査所見       | 異常なし  | 異常なし  | 異常なし  |
| 血液生化学的検査所見     | 異常なし  | 異常なし  | 異常なし  |

## ■育成牛における安全性

育成牛(3ヵ月齢)にストックガード5の常用量または高用量(10倍量)を3回注射し観察を行いました。全頭とも順調に発育し、ワクチン注射による元気・食欲の減退などはみられませんでした。

